

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 東京鐵鋼株式会社
 コード番号 5445 URL <http://www.tokyotekko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 毎文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理・関連事業担当 上席執行役員兼総務・経理部長 (氏名) 太田 高嗣
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 東

TEL 03-5228-9012

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	38,755	—	1,043	—	847	—	503	—
20年3月期第2四半期	32,538	1.6	3,283	△38.6	3,076	△38.7	1,961	△28.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	11.42	—
20年3月期第2四半期	44.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第2四半期	54,997	—	23,706	—	43.0	537.36
20年3月期	54,487	—	23,658	—	43.3	535.39

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 23,662百万円 20年3月期 23,604百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	12.9	7,500	28.5	7,000	29.0	4,000	33.9	90.84

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 — 社(社名) 除外 1社(社名 有限会社吉栄)
 (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 46,826,528株 20年3月期 46,826,528株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 2,791,178株 20年3月期 2,737,753株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 44,065,217株 20年3月期第2四半期 43,997,248株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の業績予想は、平成20年5月15日に公表した内容を平成20年10月31日に変更したものであります。
- 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融不安に端を発した世界経済の減速による輸出の減少や原材料価格の高騰により企業収益は落ち込み、さらに設備投資の低迷や個人消費も弱含むなど、景気は後退局面を迎え厳しい状況で推移しました。

当社の属する電炉小棒業界におきましては、建築需要が減退するなか、主原料の鉄スクラップ価格が7月下旬までかつてない勢いで上昇し、その後急落するなど極めて不安定な経営環境となりました。

このような中で当社はネジテツコン及び関連商品の拡販に注力するとともに、製品価格の引き上げに努めてまいりました。この結果、販売数量は前年同期に比べ減少しましたが、製品価格がトン当たり1万6千円改善したことにより、売上高は387億5千5百万円と前年同期を62億1千7百万円上回る実績となりました。

収益につきましては、鉄スクラップ価格の上昇がトン当たり2万1千円と製品価格の改善を大幅に上回ったことを主因に、経常利益は前年同期比22億2千9百万円減少し8億4千7百万円となり、四半期純利益は前年同期比14億5千7百万円減少し5億3百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ5億9百万円増加し、549億9千7百万円となりました。流動資産は前期末に比べて1億4百万円増加の226億6千4百万円、固定資産は前期末に比べて4億5百万円増加の323億3千3百万円となりました。固定資産の増加は主として機械及び装置の増加によるものです。

負債合計は、前期末に比べ4億6千1百万円増加し、312億9千万円となりました。流動負債は前期末に比べ3億3千2百万円減少の184億9百万円、固定負債は前期末に比べて7億9千4百万円増加の128億8千1百万円となりました。固定負債の増加は主として社債発行の増加によるものです。

純資産合計は、前期末に比べて4千8百万円増加し、237億6百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月31日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

連結除外：有限会社吉栄

前期末において当社の連結子会社であった有限会社吉栄は、平成20年4月1日付で当社が吸収合併したため、消滅しました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等の算定方法

一部の連結子会社において、年間見積実効税率を用いて、税金費用を計算する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この変更による損益への影響はありません。

(追加情報)

当社及び連結子会社の機械装置の耐用年数について、第1四半期連結会計期間より、平成20年度法人税法の改正を契機に見直しを行い、一部資産について耐用年数を変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ43百万円減少しております。

なお、セグメントに与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,992	4,558
受取手形及び売掛金	7,536	7,453
商品	793	753
製品	7,872	7,531
原材料	1,572	1,381
貯蔵品	403	390
その他	500	492
貸倒引当金	△7	△1
流動資産合計	22,664	22,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,974	6,129
機械装置及び運搬具(純額)	11,753	10,471
土地	11,855	11,677
その他(純額)	944	1,648
有形固定資産合計	30,527	29,927
無形固定資産	299	463
投資その他の資産		
投資有価証券	1,228	1,256
その他	301	302
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	1,506	1,535
固定資産合計	32,333	31,927
資産合計	54,997	54,487

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,378	6,242
短期借入金	8,800	7,300
1年内償還予定の社債	160	120
1年内返済予定の長期借入金	1,615	1,613
未払法人税等	252	605
賞与引当金	394	427
役員賞与引当金	—	46
その他	1,808	2,385
流動負債合計	18,409	18,742
固定負債		
社債	1,800	880
長期借入金	6,663	6,965
退職給付引当金	2,422	2,421
環境対策引当金	368	368
再評価に係る繰延税金負債	579	579
負ののれん	31	5
その他	1,015	866
固定負債合計	12,881	12,087
負債合計	31,290	30,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,839	5,839
資本剰余金	1,739	1,740
利益剰余金	15,784	15,723
自己株式	△967	△950
株主資本合計	22,396	22,354
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	411	395
土地再評価差額金	855	855
評価・換算差額等合計	1,266	1,250
少数株主持分	43	53
純資産合計	23,706	23,658
負債純資産合計	54,997	54,487

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	38,755
売上原価	34,302
売上総利益	4,453
販売費及び一般管理費	
運搬費	1,664
給料	472
退職給付費用	50
賞与引当金繰入額	160
減価償却費	77
賃借料	136
研究開発費	79
貸倒引当金繰入額	5
その他	762
販売費及び一般管理費合計	3,409
営業利益	1,043
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	15
雑収入	107
営業外収益合計	129
営業外費用	
支払利息	265
社債発行費	24
その他	36
営業外費用合計	325
経常利益	847
特別利益	
固定資産売却益	3
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	107
投資有価証券評価損	51
ゴルフ会員権評価損	0
その他	0
特別損失合計	159
税金等調整前四半期純利益	691
法人税、住民税及び事業税	226
法人税等調整額	△48
法人税等合計	177
少数株主利益	10
四半期純利益	503

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	691
減価償却費	1,272
無形固定資産償却費	36
のれん償却額	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△46
投資有価証券評価損益(△は益)	51
ゴルフ会員権評価損	0
売上債権の増減額(△は増加)	△79
割引手形の増減額(△は減少)	△3
たな卸資産の増減額(△は増加)	△584
仕入債務の増減額(△は減少)	△864
有形固定資産除却損	101
有形固定資産売却損益(△は益)	△3
未払消費税等の増減額(△は減少)	143
その他の資産の増減額(△は増加)	△7
その他の負債の増減額(△は減少)	13
受取利息及び受取配当金	△22
支払利息	265
小計	940
利息及び配当金の受取額	22
利息の支払額	△265
法人税等の支払額	△580
営業活動によるキャッシュ・フロー	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△26
定期預金の払戻による収入	76
子会社株式の取得による支出	△6
有形固定資産の取得による支出	△2,472
無形固定資産の取得による支出	△47
有形固定資産の売却による収入	120
貸付金の回収による収入	2
投資その他の資産の増減額(△は増加)	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,349

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,500
長期借入れによる収入	500
長期借入金返済による支出	△800
社債の発行による収入	1,000
社債の償還による支出	△40
自己株式の取得による支出	△1
自己株式の売却による収入	1
配当金の支払額	△440
少数株主への配当金の支払額	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,716
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△516
現金及び現金同等物の期首残高	4,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,956

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項なし

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	38,593	162	38,755	—	38,755
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2	1,610	1,613	(1,613)	—
計	38,596	1,773	40,369	(1,613)	38,755
営業利益	917	130	1,047	(4)	1,043

- (注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。
2. 各区分の主な製品
(1) 鉄鋼事業 …… 棒鋼、棒鋼加工品、鉄スクラップ
(2) その他の事業 …… 貨物運送、設備等のメンテナンス
3. 「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、機械装置の一部について、耐用年数を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、鉄鋼事業の営業利益が43百万円減少しております。

【所在地別セグメント】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高がないため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項なし

「参考資料」

1. 前中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額		百分比
I 売上高		32,538	100.0 %
II 売上原価		25,654	78.8
売上総利益		6,883	21.2
III 販売費及び一般管理費		3,600	11.1
営業利益		3,283	10.1
IV 営業外収益			
1. 受取利息	8		
2. 受取配当金	22		
3. 雑収入	39	71	0.2
V 営業外費用			
1. 支払利息	232		
2. 社債発行費	23		
3. その他	22	278	0.8
経常利益		3,076	9.5
VI 特別利益			
その他	10	10	0.0
VII 特別損失			
1. 固定資産除却損	95		
2. 固定資産売却損	5		
3. ゴルフ会員権評価損	1	102	0.3
税金等調整前中間純利益		2,984	9.2
法人税、住民税及び事業税	1,131		
法人税等調整額	△ 121	1,010	3.1
少数株主利益		13	0.1
中間純利益		1,961	6.0

2. 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前中間純利益	2,984
2. 減価償却費	1,311
3. 無形固定資産償却額	31
4. のれんの償却額	1
5. 貸倒引当金の増加額	1
6. 賞与引当金の減少額	△ 67
7. 退職給付引当金の増加額	33
8. 役員退職慰労引当金の減少額	△ 478
9. 役員賞与引当金の減少額	△ 74
10. ゴルフ会員権評価損	1
11. たな卸資産の増加額	△ 1,587
12. 売上債権の増加額	△ 223
13. 割引手形の減少額	△ 123
14. 仕入債務の増加額	337
15. 有形固定資産の除却による損失	95
16. 有形固定資産の売却による損失	5
17. 未払消費税等の減少額	△ 33
18. その他流動資産の減少額	20
19. その他流動負債の増加額	263
20. その他固定負債の増加額	433
21. 受取利息及び配当金	△ 31
22. 支払利息	232
小計	3,131
23. 法人税等の支払額	△ 1,026
24. 利息及び配当金の受取額	31
25. 利息の支払額	△ 235
営業活動による キャッシュ・フロー	1,901
II 投資活動による キャッシュ・フロー	
1. 定期預金の預入による支出	△ 28
2. 定期預金の払出による収入	58
3. 有形固定資産の取得による支出	△ 2,534
4. 無形固定資産の取得による支出	△ 143
5. 有形固定資産の売却による収入	15
6. 貸付金の回収による収入	9
7. その他投資等の減少額	16
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,606
III 財務活動による キャッシュ・フロー	
1. 社債の発行による収入	1,000
2. 社債の償還による支出	△ 56
3. 短期借入による収入	6,316
4. 短期借入金の返済による支出	△ 6,420
5. 長期借入による収入	1,000
6. 長期借入金の返済による支出	△ 938
7. 配当金の支払額	△ 439
8. 自己株式の取得による支出	△ 3
9. 自己株式の売却による収入	0
財務活動による キャッシュ・フロー	460

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
IV 現金及び現金同等物に係る 換算差額	—
V 現金及び現金同等物の 減少額	△ 244
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	3,905
VII 現金及び現金同等物の 中間期末残高	3,660

3. セグメント情報

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(1) 事業の種類別セグメント

(百万円未満切捨て)

	鉄鋼事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	32,400	137	32,538	—	32,538
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1,853	1,855	(1,855)	—
計	32,401	1,991	34,393	(1,855)	32,538
営業費用	29,183	1,931	31,114	(1,859)	29,254
営業利益	3,218	60	3,279	4	3,283

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

- (1) 鉄鋼事業 …… 棒鋼、棒鋼加工品、鉄スクラップ
(2) その他の事業 …… 貨物運送、設備等のメンテナンス

(2) 所在地別セグメント

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

(3) 海外売上高

海外売上高がないため、記載を省略しております。